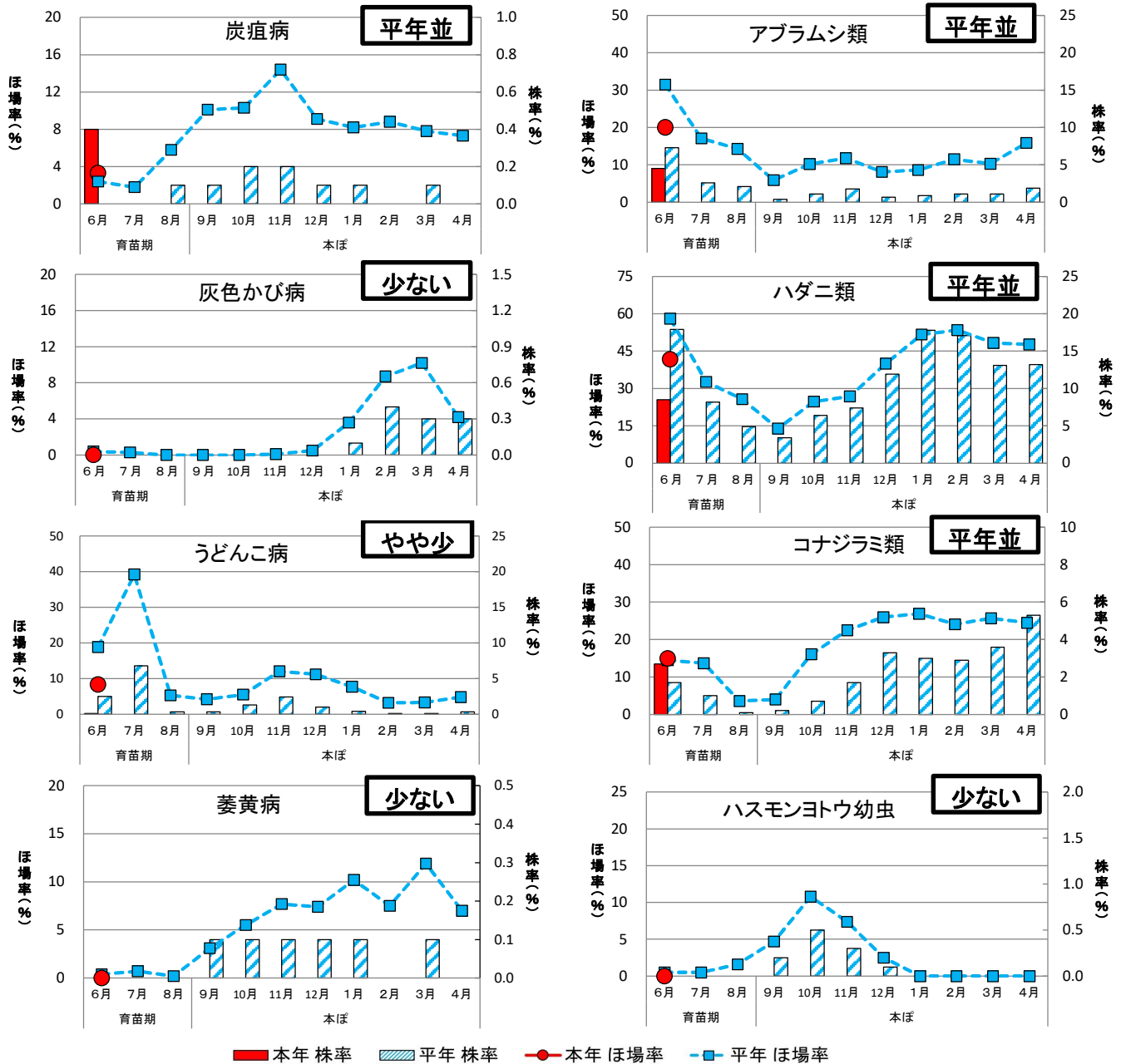


いちご病害虫情報第1号（6月）

令和5（2023）年6月23日
栃木県農業環境指導センター

■ 病害虫の発生状況 【総調査ほ場数：60か所】



※ほ場あたり25株調査 ※株率(%)：発生株数／調査ほ場数×25株 ※ほ場率(%)：発生が確認されたほ場数／調査ほ場数

■ 今月の防除ポイント

－ 炭疽病の対策 －

高温・多湿条件で発生が多くなります。予防を主体とした防除対策を徹底しましょう！

- 1 症状が出てからの防除は困難なので、発生前から、ベルコートフロアブル(RACコードF:M7)等を定期的に予防散布する。
- 2 分生子の飛散・伝染を防ぐため、頭上かん水は控え、点滴チューブを用いるなど、できるだけ水の跳ね返りのない方法でかん水を行う。
- 3 罹病株は早急に取り除いて施設外へ持ち出し、嫌氣的発酵処理(抜き取った株を肥料袋等に詰め、空気を排出し口をしっかりと閉じて、日当たりのよい野外に放置する)後に処分する。

■ 今月のトピックス うどんこ病

症状について

うどん粉をまぶしたような白色のカビによる病害です(写真1~8)。長雨等の過湿や日照不足で軟弱徒長した株、過繁茂した株で多く発生します。うどんこ病が発病したつぼみでは、花弁がピンク色に変色することがあります(写真5)。

防除対策について

- 1 薬剤防除は予防を主体に行う。薬剤には展着剤を加え、葉裏にも薬液が良くかかるようにていねいに散布する(育苗期・本ぽ)。
- 2 育苗時からの防除を徹底し、本ぽに菌を持ち込まないようにする(育苗期)。
- 3 葉(老化葉等)を除去し株元や花房の風通しを良くする(本ぽ)。
- 4 寒暖差による結露や、かん水過多にならないように注意する(本ぽ)。
- 5 気温上昇時は、施設内の換気を行う(本ぽ)。
- 6 曇雨天時にはくん煙剤を使用する。硫黄くん煙は天敵に対し悪影響があるため、天敵導入ほ場では長時間のくん煙処理は避ける(本ぽ)。

《葉での病徴》



写真1 葉



写真2 葉裏



写真3 葉柄

《花・花柄・果実での病徴》



写真4
がくと果柄



写真5
花弁の変色

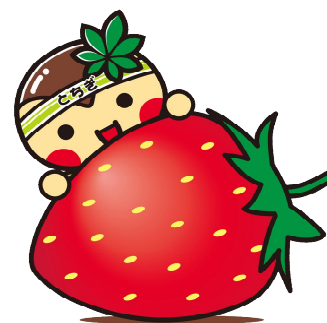


写真6 被害果(未熟)



写真7 被害果(成熟)

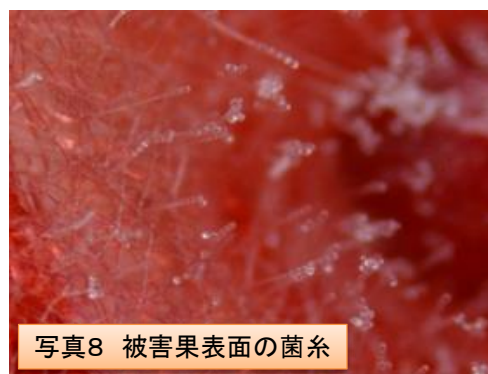


写真8 被害果表面の菌糸